消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1.	事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2.	体験した事例の名称	辺りが暗くなった火災現場で、資機材搬送中に側溝に足をとられそうになった事例
3.	体験した事例の中心的要素	日が落ち、辺りが暗くなっていた火災現場で、草が覆い茂っている場所において、走って ホース等の資機材を搬送中に草木で側溝が隠れていて足をとられそうになった。
4.	体験した事例の原因・理由	火災範囲が広く延焼中の現場ということで、気持ちに焦りがあり現場全体に存在する危険性を把握することができなかったこと。

【体験した事例の直接的原因について】

•••••••••••

1. 体験した事例の直接的な原因 行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)

【体験した事例について】

••••••

1.	発生日時	平成31年1月10日 午後5時頃
2.	発生した当時の天候	晴れ
3.	発生した活動現場	屋外:林野(竹・ヒノキ・杉・雑木)
4.	体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5.	事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6.	どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	転倒、切り・こすれ、腰痛
7.	事例体験時の活動	火災現場活動中期、[林野]
8.	(7の活動中)どのような作業 中に発生したか	資機材準備·撤収
9.	同様の体験は、これまでにど の程度の頻度で体験していま すか。	初めて体験した

10.ヒヤリハット体験当事者の属性(回答者は当事者A)	••••••••
-----------------------------	----------

〇当事者A	年齢[20]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]
○□⇒省へ	同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
〇当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]
○□撃行□	同様の活動[]、任務[]
〇当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]
○□事有□	同様の活動[]、任務[]
〇その他(当事者が4人以上の場合)	

1. 事例発生の経過。		*>!-+! +-	
	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1 /	А	火災現場で資機材搬送中に転倒しかけた。	
径過2			
経過3			
径過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】	
	1

••••••

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

〇ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

たまたま、事故にならなかった

〇心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい
d 心身の不調があった。	•

・体調が悪かった。	いいえ	
・悩み事があった。	いいえ	

○装備・資機材について

e. 資機材の故障·不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

I. その他の理由があった。

【事故発生後の取り組みについて】 〇注意力欠如、焦り等の対策について	••••••
した窓が大郊、黒ヶ寺の が水について	
○装備・資機材の対策について	
○表哺・貝依付の対象に りいこ	
○活動環境の対策について	
○指揮・情報伝達の対策について	

